

軟磁性材料の静・動的磁気特性と それらの特性評価法およびデバイス応用例

1名分料金で
2人目無料

◆日時:【オンライン受講】2025年12月18日(木) 13:00~17:00

【アーカイブ受講】2025年12月19日(金)~12月26日(金)

◆形式:ZoomによるWEB配信

◆聴講料:1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき38,500円(税込)

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で49,500円(税込))

HPはこちらから ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/2509126>

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

[講師] 東北大学 大学院工学研究科 教授 博士(工学) 遠藤 恭 氏

[受講対象]

・磁性材料・デバイスメーカーで材料開発およびデバイス応用に携わっている方

[講座のポイント]

高周波用部材(インダクタ、変圧器等)、電磁ノイズ抑制体、再生用磁気ヘッド、スピントロニック磁気抵抗型ランダムアクセスメモリ(STT-MRAM)といったさまざまな磁気デバイスは幅広い周波数帯域(数百kHz~数GHz)を対象として盛んに研究開発がすすめられている。これらのデバイスを構成する磁性材料は、主に薄膜、微粒子、薄帯形状等からなる軟磁性材料である。この軟磁性材料を開発して磁気デバイスへ展開していくためには、それらの材料における静・動的磁気特性を詳細に把握する必要がある。同時に、それらの特性評価法を理解することも必要不可欠である。

本セミナーでは、磁気デバイスを担うさまざまな形状の軟磁性材料における磁気特性とその評価方法について、主に学習する。

[習得できる知識]

- ・軟磁性材料の基礎知識(静磁気特性・高周波磁気特性)
- ・磁気計測技術の基礎
- ・軟磁性材料のデバイス応用例

※職場や自宅のPCでオンライン会議アプリZoomを使って受講
できます。受講方法などは申込後にご連絡いたします。

[プログラム]

- はじめに
- 軟磁性材料の静・動的磁気特性
 1. 軟磁性材料の種類
 2. 軟磁性材料の静磁気特性
 3. 軟磁性材料の動的磁気特性
 - 2.3.1. MHz帯域での特性
 - 2.3.2. GHz帯域での特性
- 軟磁性材料の磁気特性評価法
 - 3.1. 静磁気特性評価法
 - 3.1.1. 磁化曲線
 - 3.1.2. 磁区観察法
 - 3.1.3. 磁気ひずみ測定法
 - 3.2. 動的磁気特性評価法
 - 3.2.1. MHz帯での特性評価法
 - 3.2.2. GHz帯での特性評価法
 - 1)透磁率測定法
 - 2)強磁性共鳴測定法
 - 3.3. 新規特性評価法の紹介
- 軟磁性材料の磁気デバイス応用例
 - 4.1. 微粒子および薄帯材料のデバイス応用例
 - 4.2. 最新動向紹介
- まとめ

【質疑応答】

『軟磁性材料』セミナー申込書 ※ご希望の受講形式どちらかにチェックを入れて下さい ☐ オンライン ☐ アーカイブ

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐ Eメール ☐ 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書などをお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>